

環境かわら版

ごみゼロ
いちのみや530作戦実施中

No. 33 (2010年5月1日 発行)

ご存じですか

一宮市環境基本計画

安全で快適な魅力あふれる

環境都市をめざして

私たちが住んでいる一宮市を、望ましい”環境都市”として実現させる。

さらに一宮市の環境をよりよく保ち、次の世代に引き継いでゆくために、望ましい環境像を明らかにする。

その環境目標を達成するための具体的な取組みと行動指針を、市民・事業者・行政などのそれぞれの主体が、分担すべき行動を示し、実効性のある計画として、公募市民23名によって策定された、文字通りの市民手づくりによる環境基本計画で、4節からなります。

第一節

安全で安心できる
住みよいまちをたて

工場・自動車・家庭などから排出される汚染物質によって、大気・水・土壌などを汚すことがなく、また、騒音・振動や悪臭もない健康で、快適に暮らせるまち。そして、火災・水害・犯罪・交通事故といった禍（わざわい）のない安全で、安心して住むことができ

るまち。一宮市が、そんなまちにそだつことを「まちそだて」として、公害問題や防災・防犯問題に関する計画を立てました。環境問題

の解決には、規則や規制に基づいて社会的に責任を負うこと、市民一人ひとりが協力して互いに積極的に取り組むことが必要です。



第二節

自然とふれあい、
緑あふれる潤いのある
まちづくり

緑の色濃い木々。緑が広がる肥沃な田畑。そして、咲き競う花々。鳥や、魚や、虫たちとも親しくふれあうことができ、身近に自然を感じられるまち。

< 回 覧 >

* 裏面もお読みください。



コスモスまつり

また、身近な自然とのふれあいのなかで、市街地の景観は美しく、歴史をしのぶ神社や遺跡がよく保護されていて、潤いや安らぎを与えてくれる自然と共生のまち。一宮市はそんなまちであってほしいのです。

その思いを基に、自然環境問題や都市景観、歴史・文化遺産などに関する計画を立てました。

自分の周囲にあるものの存在を認識し、それらのありように関心を持つとともに、自分と環境が密接な関係にあること、自分の活動が環境にさまざまな影響を与えていることを理解し、環境の改善に対して自ら問題として、責任を持って主

体的に取り組む人間をそだてていくこと、他者（自然と人間）に対する感性と共感を育むことを考えます。



植樹祭

第三節

環境負荷の少ない循環を基調とした

まちづくり

社会が持続して発展していくためには、環境をよりよく保ち、資源を大切に繰り返し使っていくことが必要です。そういう社会経済活動や生活様式を定着させた社会が資源循環型社会なのです。

一宮市が資源の有効利用と環境に与える影響が少ない循

環を基調としたまちとなるよう、ごみ減量や地球環境問題に関する計画を立てました。私たちは次世代や今、世界で苦しんでいる人々を思いやる気持ちを育み、心豊かなライフスタイルを身につけて、その答えをださなければなりません。

第四節

一人ひとりが積極的に参加する自立と協働のまちづくり

よりよい環境をめざして、市民も、事業者も、行政も、すべての主体がそれぞれの役割を果たし、互いに手を携え、協力して行動することが必要です。



大江川クリーン作戦

自らが主体的に行動し、また、連携してともに行動する、自立と協働のまち。そんなまちになるよう自立と協働をテーマに計画しました。

この環境基本計画を着実に推進していくためには、市民一人ひとりの積極的な行動はもろろのこと、市民、事業者、行政、市民団体・NPOなどの協働が欠かせません。

環境基本計画推進協議会

市民手づくりの一宮市環境基本計画が平成16年4月から実施されたことに伴い、その実効性を高めるよう市民・事業者・市からのメンバーによる環境基本計画推進協議会が設けられました。

● 「一宮市環境基本計画」は、一宮市公式ホームページからアクセスできますので、一度、ご覧ください。



ツインアーチ 138

問い合わせ：一宮市環境基本計画推進協議会事務局（環境保全課内）